

ベナン共和国 クアンデ郡 オルカヨ行政区  
ワクー・テボ公立幼稚園のための  
4 教室、オフィス、倉庫を擁する 1 棟の建物  
およびトイレの建設に関する  
作業報告書その 1  
(2025 年 12 月 5 日～2026 年 3 月 10 日)

2025 年 12 月 4 日の夜、私たちはワクー・テボに到着しました。しかし、現地の住民は何も準備をしていませんでした。というのも、彼らは校長先生の言葉をまったく信じていなかったからです。これまであまりにも多くの団体が、本気でもないのに支援を約束していき、そして二度とこの辺りな村に足を踏み入れることがなかったのです。そのため、私たちが建築チーム全員を引き連れ、手押し一輪車や水樽まで抱えて現れたのを見て、村人たちは大変驚いていました。彼らは急いで作業員たちのために仮設の寝床を用意してくれました。すべてが落ち着いた後、NPO 会長、女性担当の責任者、そして私は運転手とともにクアンデへと向かい、小さなホテルに宿泊しました。

翌日の午前 10 時、私たちはぐっすり眠ってリフレッシュした状態で、総会のために時間通りワクー・テボへ戻りました。村の人々はすでに木の下にベンチや椅子を並べて待っていました。クアンデの市長もすでに席についていました。今回は、バリバ語を話す住民のためと、プール語を話す住民のために、2 人の通訳を手配していました。契約書はいつものように読み上げられましたが、今回は市長が自ら主導権を握り、力強い口調で内容を説明してくれました。市長が契約内容をよく理解していることが住民にも伝わりました。住民から出た質問には私たちが回答し、その後、投票が行われました：





子どもたちは、歓迎の言葉が書かれた小さな黒板を掲げてくれました。

総会の後、私たちは遣り方をすぐに設置できるよう、板、チークの丸太、釘といった不可欠な材料の調達に当たりました。NPO 会長と鉄筋工は、セメントと鉄筋を探すために出かけました。セメントの調達は困難を極めました、幸運なことにクアンデの店舗が 50 トンを注文したばかりで、その荷がちょうどこちらに向かっているところでした。そこでその 50 トンを即座に買い取り、さらに同量を追加注文しました。鉄筋については、ペルマまで車を走らせてようやく見つけることができました。砂と砂利の購入に関しては市長が手を貸してくれました。こうして幸いなことに、調達は予想以上に早く片付けました。

建築現場では、まず地面のシロアリを焼き払う必要があることが分かり、処理を行ってから遣り方を設置しました。



続いて砂と砂利が現場に到着しました。



鉄筋も到着しました。



ワクー・テボには資材を保管できる場所がなかったため、まずはトタンの保管小屋を建てることにしました。



住民はすぐに基礎の掘削作業を始めました。地盤は非常に硬く、多くの小さな結晶が集まった結晶質の石のような地層でしたが、男性たちは非常に高いモチベーションを持って粘り強く掘り進めてくれました。



女性たちは水を運ぶ役割を担ってくれました。



井戸の掘削については、ある業者に依頼していたのですが、水が出ないと見るや、その業者たちは姿を消してしまいました。捕まえようと試みたものの、最終的には逃げられてしまいました。この間、住民が三輪車を使って開かれた水場から水を運び、建築作業を支えてくれました。



レンガ職人たちがブロックを作り、鉄筋工が鉄筋を加工します。



掘り終わった基礎溝にコンクリートを流し込んで基礎の下地を作り、柱の位置を調整しました。



その上に2番目のコンクリート層を打設し、基礎壁を築いていきました。



翌日には壁が下部の鉄筋アンカーの高さに達しました。



下部の鉄筋アンカーを打設しました。



壁はさらに高くなり、窓の開口部の下辺の高さに達しました。



ほどなくして壁は窓のまぐさに達し、上部の鉄筋アンカーが打設されました。



さらにブロックを4段分高く積み上げ、屋根の下にあたる最後の鉄筋アンカーを打設した上で、切妻壁が築かれました。



柱の先端部分が打設され、屋根下の小さな壁も完成しました。



最後にスロープ、階段、そして土砂侵食を防ぐための防護壁を建設します。





校舎の壁を乾燥させている期間を利用して、トイレの建設を進めました。



トイレの穴の壁をシカリットとシカラテックスで防水処理した後、穴を閉じてその上にトイレ小屋を建てました。



また、校舎の隣には日よけ小屋を新設しました。ここにはソーラー照明を設置し、暗くなっても子どもたちがその光で宿題ができるようにしました。



大工たちが現場に到着しました。



製材された厚板が運び込まれると、まずはそれらに防虫剤をしっかりと染み込ませました。



その後、屋根の骨組みを組み立てて桁をのせ、屋根のパネルをネジで固定していきました。



あっという間に屋根が完成しました。



このプロジェクトに寄り添い、支えてくださる皆様に感謝いたします。  
當田アストリット